

Noism2 春の定期公演 2015

日程 ■ 2015年2月20日(金)～22日(日) 全4回公演

会場 ■ りゅーとぴあ 新潟市民文化会館 <スタジオB>



Noism2 春の定期公演 2014より 『Painted Desert』(演出振付: 山田勇氣) / 『Four Fours』(演出振付: 藤澤拓也) Photo: Isamu Murai

Noism2 専属振付家兼リハーサル監督・山田勇氣による新作と、ザ・フォーサイズ・カンパニー等で活躍する舞踊家・振付家の島地保武氏をゲストに迎えて創る新作の2本立て！

日本で唯一の劇場専属舞踊団として、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する Noism1。その付属研修生カンパニーとして Noism2 は 2009 年に設立されました。

6年目を迎えた今シーズンも、恒例の「春の定期公演」を開催いたします。昨シーズンから専属振付家兼リハーサル監督に就任した山田勇氣演出振付による新作に加え、Noism 創設時のメンバーであり、現在はドイツのザ・フォーサイズ・カンパニー等で活躍する舞踊家・振付家の島地保武氏を迎えて創る新作の2本立てで上演します。

昨シーズンの Noism2 は、新潟日報新社屋や新潟県立鳥屋野潟公園、新潟市歴史博物館でのプロジェクションマッピングとのコラボレーション公演など、新潟市内で開催されたイベントに出演を重ね、舞踊家一人一人はもちろん、カンパニーとしても大きく成長しました。

9月からスタートした今シーズンは7名の新メンバーが加わり、現在18～24歳の総勢10名の舞踊家たちが日々鍛錬を積んでいます。新メンバーもすでに北方文化博物館新潟分館(新潟市中央区)での公演など、2回の特別パフォーマンスを経て、今シーズン初の単独公演に挑みます。山田勇氣と島地保武氏が、彼らとどのような作品を生み出すのか。第6シーズンの Noism2 の挑戦にご期待ください。



潟キャンペーン「水の潟ログ」関連企画
『Noism2 特別公演 in 新潟 ODORI@潟』
於:新潟県立鳥屋野潟公園鎌木地区 特設ステージ「水辺の見晴らし台」
©Isamu Murai



みなと新潟春フェスタ 2014～光の響演～
『Noism2×みなとぴあプロジェクションマッピング』
於:新潟市歴史博物館みなとぴあ

公演に関するお問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

新潟市中央区一番堀通町 3-2 Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

1. 『ユルリ島の馬』

山田勇気

(北海道根室沖にある無人島・ユルリ島には、野生の馬が生息している。かつて昆布を運ぶために漁師に飼われていた馬が、島に残され野生化した。2006年、所有者の高齢化などのため雄が間引きされ、現在は雌だけが数頭暮らしている。)

浜風の吹き荒ぶ北の小島で、悠々と草を食む馬たち。
目映い緑の草原を疾走する群れ、吹雪の中で静かに立つ姿を、僕は美しいと感じた。
しかし、自他の別なく、時間の観念のない楽園に、絶滅は運命づけられている。
馬にとっての大運命が、人間の妥当な判断でしかないという事実を、どう考えたらいいのだろうか。
「かなしさ」は疾走して馬煙を上げる。

僕は、ユルリ島の馬の宿命を、美しく感じた。
荘厳さと、のどかさ。
絶望の淵からも、希望の光からも、遠く離れて朽ち果てていく。

僕の感動からはじまって、それがダンスとして、どこに辿り着くのか、今はわからない。
ユルリ島の馬は、なにかを問うているのだと思う。
それを僕は、言葉ではなく、踊りで問い直したいだけなのかもしれない。
馬の視点からではなく、あくまで、人間の視点から。

何者かに、踊らされることから、踊りを見つけること。
そんなことを考えている。

2. 新作 (タイトル未定)

島地保武

誰もみたことがないのに、みんなが知ってる場所をイメージしています。
浮遊したような、脈絡のない世界。
それは、夢ですね。
寝ている間に夢で何度も行く場所ってないですか。
僕にとって、それは、溜池なんですけど…
各々ダンサーに眠って居る間に(夢)で何度も行く場所を中心に、
物語を作成してもらいます。
そして、皆が作る物語に登場する
共通の事柄、人物像、場所やアイテムを見つけだし、それを他人の物語に入れるゲートにします。

そして、ゲートを記した
天体図を作り上げます。

天体図を元に身体で物語を語っていく。

そんなイメージがあります。

なので、ダンサーのアイデアがなければ、作れない作品になります。
ということで、彼らがいなくては、出来ない作品にしたいわけです。

プロフィール



Photo : Kishin Shinoyama

山田勇気 Yuki YAMADA

舞踊家、振付家。Noism2 専属振付家兼リハーサル監督。北海道生まれ。北海道教育大学函館校にて清水フミトに出会いダンスをはじめ。2005年 Noism に入団。金森穰らの作品を踊る。退団後、武道家日野晃に学ぶ。児玉北斗、小尻健太とともに project point blank を結成し自作を発表。Noism2 では、'10年初の単独公演での新作振付に始まり、信濃川やすらぎ堤に建てられた、台湾のアーティスト王文志による作品「浴火鳳凰」で一夜限りの舞台を敢行、重要文化財である新潟県政記念館での『鳩の反動 -The DOVE bounced off the language wall』を発表するなど、関係性を軸にサイトスペシフィックな方法も取り入れた舞踊作品を追求している。



Photo : Toshi Hirakawa

島地保武 Yasutake SHIMAJI

『ダンス甲子園』の影響で踊り始める。日本大学芸術学部演劇学科演技コースに入学、加藤みや子に師事。山崎広太、上島雪夫、能美健志、鈴木稔、カルメン・ワーナー等の作品に参加した後、2004~2006年、金森穰率いる Noism に参加、主なパートを踊る。'06年、ウィリアム・フォーサイズ率いる、ザ・フォーサイズ・カンパニー（ドイツ・フランクフルト）に入団。以来、カンパニーの中心的メンバーとして活躍している。また、日本での創作活動やワークショップにも、精力的に取り組んでいる。'13年より、酒井はなとのユニット〈アルトノイ〉を始動。 www.shimaji.jp

Noism²

(ノイズム ツー)

www.noism.jp

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館が舞踊部門芸術監督に金森穰を迎えたことにより設立された日本初の劇場専属舞踊団 Noism の研修生カンパニー。プロフェッショナルカンパニーである Noism1 の付属集団として 2009年9月設立。プロをめざす若手の舞踊家が所属し、毎年春には単独公演を行う他、Noism1 との合同公演として劇的舞踊『ホフマン物語』や『中国の不思議な役人』、劇的舞踊『カルメン』等に出演。'13年のシーズンからは専属振付家兼リハーサル監督として山田勇気を迎え、県内ツアーや新潟市内でのイベント等にも出演している www.noism.jp

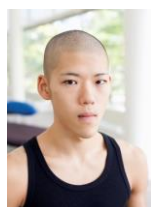
メンバー Members



浅海侑加



田中須和子



松原広稀



飯田利奈子



高木真慈



鳥羽絢美



西岡ひなの



深井響子



山下菜奈



横家亜紗子

Photo : Ryu Endo

公演概要

Noism2 春の定期公演 2015

1.『ユルリ島の馬』

[演出振付] 山田勇気 (Noism2 専属振付家兼リハーサル監督)

[出演] Noism2

2. 新作 (タイトル未定)

[演出振付] 島地保武

[音楽] 蓮沼執太

[出演] Noism2

[Noism 芸術監督] 金森穰

日時 : 2015 年 2 月 20 日 (金) 19:00 / 21 日 (土) 17:00 / 22 日 (日) 13:30 / 17:00

※全 4 回公演

会場 : りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 <スタジオ B>

入場料 : 1,500 円 (税込・全席自由)

チケット発売日 :

- 12 月 18 日 (木) N-PAC mate (りゅーとぴあ友の会) 先行発売
- 12 月 20 日 (土) 一般発売

取扱い : りゅーとぴあ (窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521 (11:00~19:00, 休館日を除く)

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

e+ イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB 共通)

平成 26 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

[主催] 公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

[製作] りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

* 未就学児の入場はご遠慮いただいております。* 開場は開演の 30 分前を予定しております。

* 開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。予めご了承下さい。

* 終演後に芸術監督と演出振付家によるアフタートークを開催いたします。是非ご参加ください。※22 日 13:30 の回は除く

公演に関するお問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel : 025-224-7000 Fax : 025-224-5626 Mail : info-noism@ryutopia.or.jp